

平成 24 年 4 月 17 日

第3回玄海町立小中学校基本構想等検討委員会

1. 開 会

2. 協議

(1) 第2回検討委員会協議内容の(仮)決定(資料 No, 1、資料 No,2)

- ① 児童生徒数の(仮)決定
- ② 一クラスの人数及びクラス数(仮)決定
- ③ 普通教室の大きさ(仮)決定
- ④ 普通教室数の(仮)決定

(2) 提案・協議(資料 No, 3)

- ① 学年区分の提案・協議
- ② 普通教室の配置提案・協議
- ③ 図書室の提案・協議
- ④ 保健室の提案・協議
- ⑤ 特別教室の提案・協議(理科教室、生活教室、音楽教室、図画工作教室・美術教室、技術教室、家庭教室、外国語教室、視聴覚教室、コンピュータ教室、特別活動室、教育相談室、進路指導室、ユビキタスルーム)
- ⑥ 職員数の提案・協議
- ⑦ 職員室の提案・協議
- ⑧ 校長室の提案・協議
- ⑨ 事務室の提案・協議

(3) 先進校視察の提案

視察校: 福岡市立照葉小中学校

西南学院小学校、中学校、高等学校

視察日: 平成 24 年 5 月 22 日(火)

時間 : 午前 時 分出発

5. 次回日程の確認

平成 24 年 5 月 15 日(火) 18 時 30 分から

6. 閉 会

II. 提案・協議

1. 学年区分の提案・協議

(1) 前提

- ① 10歳、12歳のギャップや段差を軽減・解消する。
- ② 学年区分毎のブロック活動やグループ活動を行う。
- ③ 主要教科や専門教科において、中学校教員が小学生に対し、教科指導を行う。

(2) 提案内容

提案	提案1	提案2	提案3	提案5	提案4	提案6	
小学校	1	6年	4年	4年	4年	5年	3年
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
中学校	1	3年	2年	2年	5年	2年	4年
	2						
	3						
実践校	現行 照葉小中学校 府中学園 など	七山小中学校 はるひ野小 中学校 とどろみの 森学園 伊藤学園な ど	佐賀市立小中 一貫校芙蓉校 など	信濃小中学校 など	産山小中一 貫校 など	豊里小中学校 など	
教育方針との関連	①学年の区分設定						

(3) 他校の事例

ブロック	学校名	ブロックの目標
4-3-2制 4(小1~4) 3(小5~中1) 2(中2~3)	七山小中学校	4年:生活や学習の基礎・基本を習得する時期 3年:自己肯定感を高め、論理的・抽象的思考を促進。小中学校の滑らかな接続を強化。 2年:自己実現に向けた取組みを支援。

4-2-3制 4(小1~4) 2(小5~6) 3(中1~3)	芙蓉校	4年:学びの土台づくり 2年:学び方の習得 3年:自己学習力の育成
4-5制 4(小1~4) 5(小5~中3)	信濃小中学校	4年:基本的な学習習慣や人間関係の力を身につける時期。 学級担任と学習支援員がチーム・ティーチングで指導。 5年:主体的に追求する力を培い、夢の実現に向けて進路を切り開く力を培う。
5-2-2制 5(小1~5) 2(小6~中1) 2(中2~3)	産山小中一貫校	小6年と中1年のつながりに着目して5-2-2制とし、中期における接続をスムーズに行い中1プロブレムを解消する。
3-4-2制 3(小1~3) 4(小4~中1) 2(中2~3)	豊里小中学校	3年:基本的な生活習慣や学習習慣の確立 4年:発達課題や習熟度に対応した基礎学力の定着、一部教科担任制と英語教育の導入 2年:発展的な学習、個々の習熟度に応じた小集団での学習や個別指導

2. 普通教室の配置提案・協議

(1) 施設整備指針(学校教育を進める上で必要な施設機能を確保するために、計画及び設計における留意事項を示したもの)の要約

- ① 同一学年の普通教室は、同じ階及び同じ区画にまとめて計画する。
- ② 各学年の区画は、クラス同士が隣接し、多目的スペースなどのホールを同一学年が一緒に活用できるように計画する。
- ③ 教室に入る際、廊下等から直接出入りできるように計画する。(1年1組の教室に入るために、1年2組の教室を通らなければ入れないようなつくりにしない)
- ④ 小学校低学年(1・2年生)児童のための普通教室は、生活科のための施設、教室から直接屋外にて学習活動が行える場所(テラス等)、固定遊具の遊び場など低学年児童が利用する他の特別教室、体育館、グラウンド、図書室、トイレへの移動に不便がないよう計画する。
- ⑤ 学年や利用形態に応じ、普通教室棟から移動しやすい位置に特別教室を計画する。

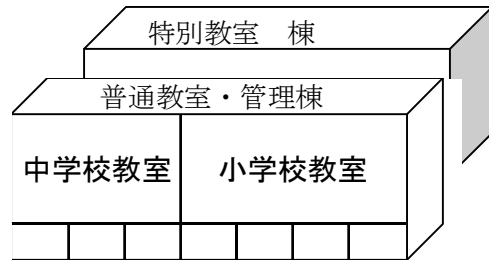
(2) 提案内容

① 1つの棟に普通教室を配置する場合

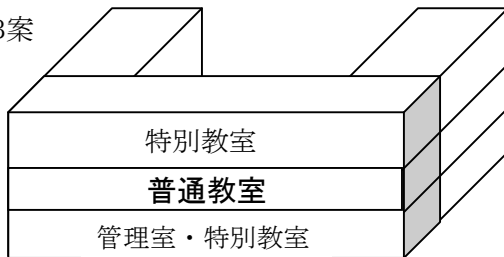
第1案



第2案



第3案

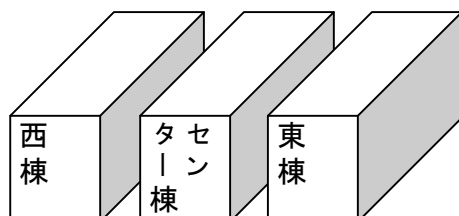


提案	提案1	提案2	提案3
設置場所	学年区分に応じて、階層別に配置する。	学年区分に応じて、縦に分割する。	全学年の普通教室を1フロアに配置する。
他校事例	伊藤学園、はるひ野小中学校 1～4年:1-2階 5～7年:3階 8～9年:4階	照葉小中学校 小学校教室: 校舎東側1-3階 中学校教室: 校舎西側1-3階	とどろみの森学園 全てのクラスを校舎2階に配置(当校の場合は、特別教室も設置。1フロアの面積約3,600㎡)

想定される効果や交流方法	学年区分に応じたブロック毎、グループ毎の活動が行いやすい。	普通教室棟から特別教室棟に小中学生が移動することにより、異学年の交流が想定される。	1フロアに全学年が配置されているため、様々な学校生活の中で9学年のつながりが持てる。
--------------	-------------------------------	---	--

②複数棟に普通教室を配置する場合

第1案



提案	提案1
設置場所	学年区分に応じて、普通教室の配置する。
他校事例	府中学園 小学校教室:西棟1-2階 中学校教室:東棟1-2階
想定される効果や交流方法	普通教室(東棟・西棟)から特別教室(センター棟)に小中学生が移動することにより、異学年の交流が想定される。

(3)現在の状況

学校	教室の配置
有徳小学校	1階:1年、2階:3年、3階:5・6年、仮設1階:2年、2階:4年
値賀小学校	2階:1・2年、3階:3・4・5・6年
有浦中学校	2階:3年、3階:1・2年
値賀中学校	1階:3年、2階:2年、3階:1年

3. 図書室の提案・協議

(1) 前提

学校設置基準において、図書室は校舎に備えるべき施設と位置づけられる。

ただし、図書室の規模について、文部科学省の基準はない。

(2) 提案内容

提案	提案1	提案2	提案3
設置数	1室	1室(メディアセンター)	学年区分毎に配置
面積※	5室分程度	5室分程度	2室分×学年区分
蔵書冊数 「学校図書館 図書標準」	小学校 7,960 冊 中学校 7360 冊 計 15,320 冊	小学校 7,960 冊 中学校 7360 冊 計 15,320 冊	小学校 7,960 冊 中学校 7360 冊 計 15,320 冊
特徴等	①全学年が使用する。 ②異学年との交流の場となりうる。	①全学年が使用する。 ②異学年との交流の場となりうる。 ③図書室、コンピュータ室、視聴覚教室を複合させた施設整備とする。	①普通教室の近くに設置するため、授業への活用や短時間の中でも容易に活用できる。
他校事例	宇治市立小中一貫校	佐賀市立城南中学校	奈良市田原小学校
共通条件等	①無線 LAN 等の整備を行い、ICT 携帯端末等の活用ができるスペースを作る ②支援員を配置し、図書だけでなく、情報端末等の使用もサポートする ③畳を敷き、小中学生が畳に座って読むスペースを作る ④準備室を設置する		
意見	①図書室を玄関ホールに設置。		

※面積は、普通教室の面積を参考とする。

(3) 現在の状況

学校	図書室面積	蔵書冊数
有徳小学校	86.4 m ²	6,000冊
値賀小学校	84.6 m ²	6,000冊
有浦中学校	95.7 m ²	6,700冊
値賀中学校	113.0 m ²	6,700冊
合計	379.7 m ²	25,400冊

4. 保健室の提案・協議

(1) 前提

学校設置基準において、保健室は校舎に備えるべき施設と位置づけられる。

ただし、保健室の規模について、文部科学省の基準はない。

(2) 提案内容

提案	提案1	提案2
設置数	1室	2室
面積※	1.5室分	1室×2
特徴等	①小学生と中学生が同じ部屋を使用する。 ②養護教諭は1名で対応可 ③異学年交流スペースになるケースもある。	①小学生と中学生、または学年区分等で使用を分ける。 ②それぞれに養護教諭が必要。
条件等	①洗濯場、シャワー場を設置する ②屋外から直接出入りできる場所に設置する ③保健室に隣接して、カウンセリング室または相談室を設ける。	

※面積は普通教室の面積を参考とする。

(3) 現在の状況

学校	保健室面積	養護教諭	保健室利用状況(のべ人数)			1日あたり利用人数(205日)
			内科的	外科的	総数	
有徳小学校	45.4 m ²	1名	773	187	960	4.68人/日
値賀小学校	46.9 m ²	1名	490	761	1251	6.1人/日
有浦中学校	47.3 m ²	1名	277	392	669	3.26人/日
値賀中学校	33.8 m ²	1名	337	185	522	2.55人/日
合計	173.4 m ²	4名	1969	1525	3494	17.04人/日

(4) 他校の事例(『小中一貫教育の特色を活かした学校づくり』より抜粋、以下同じ)

学校名	面積(1室あたり)	部屋数	児童生徒数(おおむね)	養護教諭配置数
はるひ野小中学校	112.5 m ²	1室	小 780人、中 220人	小 2名・中 1名
芝園小中学校	小 56 m ² ・中 54 m ²	2室	小 550人、中 330人	小 1名・中 1名
照葉小中学校	119 m ²	1室	小 600人、中 160人	小 1名・中 1名
豊里小中学校	85 m ²	1室	小 360人、中 190人	小 1名・中 1名

5. 特別教室の提案・協議

(1) 特別教室の定義

理科教室、生活教室、音楽教室、図画工作教室・美術教室、技術教室、家庭教室、外国語教室、視聴覚教室、コンピュータ教室、特別活動室、教育相談室、進路指導室をいう。

ただし、近年ICT教育の充実から、視聴覚及びコンピュータ教室を兼ね備えたユビキタスルームの設置もされているため、ユビキタスルームを加える。

(2) 前提

学校設置基準において、特別教室は校舎に備えるべきものとされている。

(3) 理科教室

① 提案内容

提案	提案1	提案2	提案3
設置数	1室＋準備室	2室＋準備室	3室＋準備室
面積※	1.5室分＋0.5室	1.5室分×2＋0.5室	3室分＋0.5室×3
条件・特徴等	①通常は1室で運営する。 ②時間割の調整が必要。	①授業時間数を考慮し、2室配置する。 ②基本的には、各学年が共通して使用する。	①余裕を持って設置する。 ②クラス数が減少すると使う頻度も減り、空き教室となる。

※面積は普通教室の面積を参考とする。

② 授業時間数(1クラスが1週間に行う授業時間)

	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	合計	全校合計
週時数	2.5h	3h	3h	3h	3h	4h	4h	22.5h	45h

③ 現在の状況

学校	面積	備考
有徳小学校	84.6 m ²	1室・準備室1室
値賀小学校	84.6 m ²	1室
有浦中学校	126.0 m ²	1室・準備室1室
値賀中学校	188.7 m ²	2室・準備室1室
合計	483.9 m ²	

④ 他校の事例

学校名	面積(1室あたり)	部屋数	児童生徒数(おおむね)
はるひ野小中学校	82.5 m ²	2室+教科教室2室	小780人、中220人
芝園小中学校	81 m ²	3室	小550人、中330人
照葉小中学校	108 m ²	3室	小600人、中160人
豊里小中学校	88 m ² ・102 m ²	1室・1室	小360人、中190人

(4)生活教室

①提案内容

提案	提案1	提案2
設置数	なし	1室
面積※		1室分
条件・特徴等	①普通教室や他特別教室を使用する。	①専用教室ではなく、他の教科と共用とする。

※面積は普通教室の面積を参考とする。

②授業時間数(1クラスが1週間に行う授業時間)

	1年	2年	合計	全校合計
週時数	3h	3h	6h	12h

③現在の状況

学校	面積	備考
有徳小学校	63.4 m ²	ただし、教室不足の際は、普通教室として使用
値賀小学校	なし	
合計	63.4 m ²	

④他校の事例

学校名	面積(1室あたり)	部屋数	児童生徒数(おおむね)
はるひ野小中学校	なし		小 780 人、中 220 人
芝園小中学校	なし		小 550 人、中 330 人
照葉小中学校	88 m ²	1室	小 600 人、中 160 人
豊里小中学校	なし		小 360 人、中 190 人

(5)音楽教室

①提案内容

提案	提案1	提案2	提案3
設置数	1室+準備室	2室+準備室	3室+準備室
面積※	2室分+0.5室	1室分×2+0.5室	1室分×3+0.5室
特徴、条件等	①1部屋とするが、可動式の壁で分割できるようにする。 ②音楽ホール的な雰囲気、発表の場となる様な形状(階段状)とする。	①各学年が共通して使用する。 ②複数クラス等で使用する場合は、別施設を使用する。	①ブロックにあわせて配置が可能。
共通事項	準備室を併設する		
意見	音楽室や屋外などに観客席のような構造		

※面積は普通教室の面積を参考とする。

②授業時間数(1クラスが1週間に行う授業時間)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3	合計	全校合計
週時数	2h	2h	1.7h	1.7h	1.4h	1.4h	1.2h	1h	1h	13.4h	26.8h

③現在の状況

学校	面積	備考
有徳小学校	107.1 m ²	1室・準備室1室
値賀小学校	84.6 m ²	1室
有浦中学校	126.0 m ²	1室・準備室1室
値賀中学校	160.7 m ²	1室・準備室1室
合計	478.4 m ²	

④他校の事例

学校名	面積(1室あたり)	部屋数	児童生徒数(おおむね)
はるひ野小中学校	105 m ² ・50 m ²	1室・1室	小 780 人、中 220 人
芝園小中学校	36 m ²	2室	小 550 人、中 330 人
照葉小中学校	63 m ² ・88 m ²	2室・1室	小 600 人、中 160 人
豊里小中学校	88 m ² ・108 m ²	1室・1室	小 360 人、中 190 人

(6) 図画工作教室・美術室

① 提案内容

提案	提案1	提案2	提案3
設置数	1室＋準備室	2室＋準備室	兼用1室＋準備室
面積※	1.5室分＋0.5室	1.5室×2＋0.5室	1.5室分＋0.5室
特徴、条件等	①小中学校が同じ部屋を利用する ②準備室を併設とする	①各学年が共通して使用する。	①図画工作室教室・美術室・技術室を兼用する。 ②小中学校が同じ部屋を利用する。
共通事項	準備室を併設する		

※面積は普通教室の面積を参考とする。

② 授業時間数(1クラスが1週間に行う授業時間)

	図画工作						美術			合計	全校合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3		
週時数	2h	2h	1.7h	1.7h	1.4h	1.4h	1.2h	1h	1h	13.4h	26.8h

ただし、小学校は図工室を使用して授業する頻度が少ない。

③ 現在の状況

学校	面積	備考
有徳小学校	72.4 m ²	1室・準備室1室
値賀小学校	63.0 m ²	1室
有浦中学校	126.0 m ²	1室・準備室1室
値賀中学校	123.0 m ²	1室・準備室1室
合計	384.4 m ²	

④ 他校の事例

学校名	図工面積	美術面積	児童生徒数(おおむね)
はるひ野小中学校	81 m ² ×1室	60 m ² ×1室	小780人、中220人
芝園小中学校	82.5 m ² ×1室	70 m ² ×1室	小550人、中330人
照葉小中学校	110 m ² ×1室	120 m ² ×1室	小600人、中160人
豊里小中学校	なし	108 m ² ×1室	小360人、中190人

(7)技術室

①提案内容

提案	提案1	提案2	提案3
設置数	なし	1室+準備室	兼用1室+準備室
面積※		1.5室分+0.5室	1.5室+0.5室
特徴、条件等		①木工・金工を同じ部屋で行う。 ②準備室を併設とする ③作業音が出ても、他教室に支障が及ばないよう整備する。	①図画工作室教室・美術室・技術室を兼用する。 ②小中学校が同じ部屋を利用する。

※面積は普通教室の面積を参考とする。

②授業時数(1クラスが1週間に行う授業時間)

	中1	中2	中3	合計	全校合計
週時数	1h	1h	0.5h	2.5h	5h

③現在の状況

学校	面積	備考
有浦中学校	213.8 m ²	1室・準備室1室
値賀中学校	123.0 m ²	1室・準備室1室
合計	336.8 m ²	

④他校の事例

学校名	面積	部屋の場所	児童生徒数(おおむね)
はるひ野小中学校	105 m ²	普通教室から離れた場所	小 780 人、中 220 人
芝園小中学校	66.5 m ²	校舎の端	小 550 人、中 330 人
照葉小中学校	120 m ²	校舎の端	小 600 人、中 160 人
豊里小中学校	112 m ²	普通教室から離れた場所	小 360 人、中 190 人

(8)家庭教室

①提案内容

提案	提案1	提案2	提案3
設置数	1室	2室	3室
面積※	1.5室分	1.5室分×2	1.5室分×3
特徴、条件等	①各学年が共通して使用する。 ②被服室と調理室は同室とする。 ③被服作業場所と調理作業場所の分けを行う	①調理室と被服室を別室にする。 ②それぞれ各学年が共通して使用する。	①小学校用家庭教室と中学校用家庭教室を分ける。 ②中学校用家庭教室は、調理室と被服室に分ける。

※面積は普通教室の面積を参考とする。

②授業時数(1クラスが1週間に進行授業時間)

	5年	6年	中1	中2	中3	合計	全校合計
週時数	1.7h	1.6h	1h	1h	0.5h	5.8h	11.6h

③現在の状況

学校	面積	備考
有徳小学校	89.3 m ²	調理教室・被服室・準備室
値賀小学校	116.0 m ²	家庭科室・準備室
有浦中学校	189.0 m ²	家庭科室・調理教室
値賀中学校	112.0 m ²	家庭室・裁縫室・準備室1室
合計	506.3 m ²	

④他校の事例

学校名	面積(1室あたり)	部屋数	児童生徒数(おおむね)
はるひ野小中学校	88 m ²	被服1室・調理1室	小780人、中220人
芝園小中学校	73.5 m ²	被服1室・調理1室	小550人、中330人
照葉小中学校	120 m ² ・135 m ²	小家庭1室・被服1室・調理1室	小600人、中160人
豊里小中学校	102 m ²	調理1室	小360人、中190人

(9)外国語教室

①前提

小学校施設整備指針でのみ示されている。

②提案内容

提案	提案1	提案2
設置数	なし	1室
面積※		1.5 室分
特徴、条件等	①普通教室や多目的教室等を使用する。	①体を動かしたて表現したり、グループ単位で活動したり、床にじかに座って活動したりといった多様な活動が行えるようスペースを確保する。
教育方針との関連	英語による指導実施 ①英語による指導を小学1～4年生にも導入するのかが検討が必要。 ②小学校5、6年生では、外国語活動として、週 1 時間の授業が行われている。 ③玄海町では、2 週間に1回の頻度で各保育園に講師を派遣し、英語活動を行っている。 ④小学1～4年生は、外国語活動を行っていない。	

※面積は普通教室の面積を参考とする。

③授業時数(1クラスが1週間に行う授業時間)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	全校合計
週時数	—	—	—	—	1h	1h	2h	4h

④現在の状況

該当教室はなし

⑤他校の事例

学校名	面積	部屋数	外国語指導
はるひ野小中学校	60 m ²	中学校の教科教室 1 室	—
芝園小中学校	70 m ²	中学校英語教室 1 室	小学 1 年から英語活動実施
照葉小中学校	なし		
豊里小中学校	64 m ²	英語教室 1 室	小学 4 年から英語教育実施

(10)視聴覚教室

①利用用途例

視覚・聴覚を活かして、生徒・児童が分かりやすく理解できるように、写真やスライド、映像、音響機器などを利用する場所。

②提案内容

提案	提案1	提案2
設置数	なし	1室
面積※		2室分
特徴、条件等	①図書室、コンピュータ室やエビキタスルームなどと複合した施設とする。	①プロジェクターやスクリーンを設置し、学習活動だけでなく、発表の場、学校説明会等、広く活用する。

※面積は普通教室の面積を参考とする。

③授業時数

決まった授業はない。

④現在の状況

該当教室なし

⑤他校の事例

学校名	面積	部屋数	児童生徒数(おおむね)
はるひ野小中学校	なし	—	小 780 人、中 220 人
芝園小中学校	なし	ただし、「表現の舞台」設置	小 550 人、中 330 人
照葉小中学校	なし	—	小 600 人、中 160 人
豊里小中学校	なし	—	小 360 人、中 190 人

(11)コンピュータ教室

①利用用途例

教科学習における情報収集・整理・まとめ、ドリルを使った学習、技術科でのコンピュータ学習、クラブ活動などに利用。

②提案内容

提案	提案1	提案2
設置数	なし	1室
面積※		1.5室分
特徴、条件等	①視聴覚教室やユビキタスルーム、図書室などと複合した施設とする。	①調べ学習の場や技術科の授業等に活用する。 ②1人一台PCを使用できるように配置できるスペースを確保する。
教育方針との関連	②ICT 携帯端末の導入:無線 LAN や Pad 型端末の導入等を考慮した施設整備関連	
意見	①ICT 利活用教室の授業を別の部屋に放映。 ②ICT 環境を取り込んだ教室。 ③ICT 利活用を想定した教室作り。	

※面積は普通教室の面積を参考とする。

③授業時数

調べ学習や技術科で使用する。授業時数は少ない。

④現在の状況

学校	面積	備考
有徳小学校	64.8 m ²	
値賀小学校	63.0 m ²	
有浦中学校	171.8 m ²	2室・準備室1室
値賀中学校	83.3 m ²	
合計	382.9 m ²	

⑤他校の事例

学校名	面積	部屋数	児童生徒数(おおむね)
はるひ野小中学校	77 m ²	2室	小 780 人、中 220 人
芝園小中学校	70 m ²	1室	小 550 人、中 330 人
照葉小中学校	74 m ² ・126 m ²	小 1 室・中 1 室	小 600 人、中 160 人
豊里小中学校	148 m ²	1室	小 360 人、中 190 人

(12) 特別活動室

① 定義

特別活動とは、学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事等をいう。

② 提案内容

提案	提案1	提案2	提案3
設置数	なし	1室	2室
面積※		1室分	1室分
特徴、条件等	①特別活動は、普通教室、多目的教室や多目的スペース、他教科教室等でまかなう。 ②必要な場合は、町民会館の和室等も使用する。	①児童会・生徒会室を設置する。 ②通常は、可動式扉で分割し、必要に応じて1室にする。	①児童会・生徒会室、特別活動室を設置する。 ②児童会・生徒会室は、共同で使用する。
意見	①集中力を高める教室を作るべき。座禅室みたいな教室。		

※面積は普通教室の面積を参考とする。

③ 授業時数

決まって使用する授業はない。

④ 現在の状況

学校	面積	備考
有浦中学校	31.5 m ² ・63 m ²	生徒会室・教養室
値賀中学校	29.4 m ²	生徒会室
合計	60.9 m ²	

⑤ 他校の事例

a) 面積

学校名	特別活動室	児童会/生徒会室	児童生徒数(おおむね)
はるひ野小中学校	38.5 m ² (和室)	28 m ² /28 m ²	小 780 人、中 220 人
芝園小中学校	42 m ² (和室)	—/24.5 m ²	小 550 人、中 330 人
照葉小中学校	—	29 m ² /29 m ²	小 600 人、中 160 人
豊里小中学校	30 m ²	40 m ²	小 360 人、中 190 人

b) 児童会・生徒会の位置づけ

学校名	設置	参考)PTA 組織
はるひ野小中学校	それぞれ設置	小中一本化
芝園小中学校	それぞれ設置	小中それぞれ設置
照葉小中学校	それぞれ設置	小中一本化
豊里小中学校	合同の児童生徒会	小中一本化

(13)教育相談室

①利用用途例

児童生徒が持つ悩みなどについて話を聞いたり、援助したり、指導するためにスクールカウンセラーとの相談場所となったり、スクールカウンセラーと教員との相談場所、スクールカウンセラーと保護者などとの相談場所として使用される。

②提案内容

提案	提案1	提案2	提案3
設置数	なし	1室	2室
面積※		0.5室分	0.5室×2
特徴、条件等	①教育相談は保健室等でまかなう。	①カウンセラーや教員と児童生徒、保護者が個別に話ができるように完全個室とする。 ②保健室に隣接した場所に設置する。	①相談が重なったときも対応できるように2室設置。
意見	①教育相談室の複数設置 ②別室登校者の教室等の設置。不登校傾向児童生徒の学習室の確保。		

※面積は普通教室の面積を参考とする。

③授業時数

授業では、使用しない。

④現在の状況

学校	面積	備考
有徳小学校	なし	
値賀小学校	31.5 m ²	1室
有浦中学校	31.5 m ²	1室
値賀中学校	24.5 m ²	1室
合計	87.5 m ²	

⑤他校の事例

学校名	面積	備考	児童生徒数(おおむね)
はるひ野小中学校	17.5 m ²	相談室	小 780 人、中 220 人
芝園小中学校	24 m ² ×2・30 m ²	相談室 3 室	小 550 人、中 330 人
照葉小中学校	76 m ²	相談室・心の教室	小 600 人、中 160 人
豊里小中学校	16 m ² ・20 m ²	相談室・カウンセリング	小 360 人、中 190 人

(14)進路指導室

①提案内容

提案	提案1	提案2
設置数	なし	1室
面積※		0.5室分
特徴、条件等	①普通教室や多目的教室等でまかなう。	①進路指導を行う専用室を設ける。 ②他施設との共用も考慮する。

※面積は普通教室の面積を参考とする。

②授業時数

授業では使用しない。

③現在の状況

該当施設なし。

進路指導の資料は、職員室前や3学年学級前等に設置。

④他校の事例

学校名	面積	部屋数	備考
はるひ野小中学校	22.5 m ²	1室	
芝園小中学校	10 m ²	1室	
照葉小中学校	なし	—	進路指導資料は、交流スペースに設置
豊里小中学校	なし	—	

(15) ユビキタスルーム

① 定義

ユビキタスとは、情報化社会において、いつでも、どこでもコンピュータ技術が存在し、コンピュータの存在を意識せずにその機能を利用できる環境のことをいい、その環境が整った教室をユビキタスルームという。

② 提案内容

提案	提案1	提案2
設置数	なし	1室
面積※		2室分
特徴、条件等	① 視聴覚教室やコンピュータ室、図書室などと複合した施設とする。	① パソコンまたはPad型端末、プロジェクター、スクリーン、電子黒板、電子教卓等が設置され、無線LAN環境が整備されている。 ② 丸机や複数で利用できる机等の配置。
教育方針との関連	② ICT携帯端末の導入:無線LANやPad型端末の導入等を考慮した施設整備	

※面積は普通教室の面積を参考とする。

③ 授業時数

固定的な授業はない。多様な活用方法は考えられる。

④ 現在の状況

該当設備はなし。

⑤ 他校の事例

佐賀県立致遠館中学校(教室 126 m²)

ア. 電子黒板

教室前方中央に1台設置。スライド式の電子黒板を設置(プロジェクタ付き)。

イ. 大型スクリーン

教室前方廊下側に設置(天吊式)。

ウ. プロジェクタ

大型スクリーン用に教室前方廊下側に1台設置(天吊式)。

エ. 電子教卓

教室前方窓側に設置。

オ. 学習者用端末(Pad型パソコン×40台)

カ. 無線LANアクセスポイント

無線LANのアクセスポイントを2台設置。

キ. 生徒用学習机

既存の生徒用学習机・椅子は再利用。



6. 職員数の提案・協議

(1) 前提

- ① 県費教員数は、県が定める学級数に応じた基準に基づく。
- ② 町費職員数は、学級数に応じて配置が必要となるため、一クラスの人数及びクラス数提案内容の提案番号と同一とする。
- ③ また、学習支援員(全体指導では理解することが難しい子ども、学習中に離席等をする子どもなどを支援する教員)等の配置等も含めて検討する必要がある。1学年1名配置を想定する。現在は、4校で13名配置。
- ④ 英語による指導を実施する場合は、町費職員の増加を考慮する。

(2) 県費教職員の提案内容

県が定める学級数に応じた基準に基づき、算出。ただし、小中一貫校となった場合は、県との協議が必要である。

職名		提案1			提案2			提案3		
		小	中	計	小	中	計	小	中	計
県費	校長	1	1	2	1	1	1	1	1	
	教頭	1	1	2	1	1	2	1	1	
	教諭	13	10	23	13	10	23	13	10	
	養護教諭	1	1	2	1	1	1	1	1	
	事務職員	1	1	2	1	1	1	1	1	
	栄養教諭		1	1		1	1		1	
	特別支援学級	2	1	3	2	1	3	2	1	
	調整			0		3	3		4	
	小計	19	16	35	19	16	35	19	16	

※小中あわせて1名とした場合は、小学校籍に配置したものとし、その差を調整として表示する。

(3) 町費職員の提案内容

- ① 講師…学級編制において、県が定める基準を超えたクラス編制となった場合に町が雇用する教員をいい、増加学級数分を配置する。
- ② 学習支援員等…個別に支援を要する児童生徒に配置し、1学年1名配置を想定する。
- ③ 用務員…小中学校に1名配置する。
- ④ 学習メディアサポーター…学校図書館の運営に関すること及び学校全体の情報教育に関するについて、サポートを行う支援員を配置する。

職名		提案1 「小中1年生35人学級、他40人学級」			提案2 「全学級35人学級」			提案3 「全学級33人学級」			提案4 「全学級30人学級」		
		小	中	計	小	中	計	小	中	計	小	中	計
町費	講師			0	1		1	1	1	2	2	3	5
	学習支援員等	6	3	9	6	3	9	6	3	9	6	3	9
	用務員		1	1		1	1		1	1		1	1
	学習メディアサポーター		1	1		1	1		1	1		1	1
	小計	8	3	11	9	3	12	9	4	13	10	6	16

7. 職員室の提案・協議

(1) 前提

- ①職員数によって、職員室の広さが変わる可能性がある。
- ②面積の算定においては、国交省新営一般庁舎面積算定基準(事務室の執務面積は、人員×3.3 m²とする)を参考に積算する。また、県費教職員数(非常勤含む)と町費教職員数を組み合わせた提案内容を提示する。

(2) 提案内容

	提案1	提案2
設置数	1 室	2 室
特徴、条件等	①小中同じ部屋とする。 ②小中または学年区分に分けて座席を配置する。	①小中にわけて部屋を設置する。
面積	教職員数に応じ、面積を算定する(152 m ² ~168 m ²) 積算方法:3.3 m ² /人×教職員数	
その他	職員室付近に教職員用の休養室と更衣室を設ける。	
意見	①職員室の設置(小中別か、小中1つか) ②職員室(小中の教員が1つの部屋に集まること。教員の意識改革)	
他校事例	はるひ野小中学校 照葉小中学校 豊里小中学校	芝園小中学校

(3) 現在の状況

学校	職員室面積	更衣室面積	休養室面積	職員数(県費・町費・非常勤含む)
有徳小学校	97. 2 m ²	14. 3 m ²	7. 6 m ²	32 名(3.0 m ² /人)
値賀小学校	78. 8 m ²	15. 8 m ²	—	24 名(3.3 m ² /人)
有浦中学校	94. 5 m ²	15. 8 m ²	15. 8 m ²	24 名(4.0 m ² /人)
値賀中学校	80. 3 m ²	15. 7 m ²	16. 6 m ²	23 名(3.5 m ² /人)

※更衣室及び休養室はその他施設で協議。

(4) 他校の事例

学校名	面積・部屋数	座席の配置	場所	職員数
はるひ野小中学校	264 m ² ・1 室	学年区分で配置	校舎の中心かつ 1 階に配置	64 名
照葉小中学校	266 m ² ・1 室	小・中別で配置	校舎の中心かつ 1 階に配置	53 名
豊里小中学校	170 m ² ・1 室	学年区分で配置	校舎の中央かつ 1 階に配置	46 名
芝園小中学校	小 192 m ² ・1 室	学年別の配置	グラウンドが一望できる 1 階に配置	48 名
	中 124 m ² ・1 室			
	小 18 m ² ・1 室	教員コーナー	学年ごとに配置	

8. 校長室の提案・協議

(1) 前提(施設整備指針等)

①必要に応じ他の管理関係室と区画する。

(2) 提案内容

	提案1	提案2	提案3
設置数	なし	1室	2室(2人の場合)
面積※		0.5室	0.5室×2
特徴、条件等	①校長室を設けない。 ②職員室に机を設ける。	①校長室を職員室とは別に設ける。 ②小中校長を配置した場合も1室とする。 ③職員室に隣接した場所に設置する。	①小・中分けて設置する。 ②職員室に隣接した場所に設置する。
その他	①旗や記念品等を展示する家具は、校長室外に置く ②来客用応接室は、別に設ける。 ③会議を行うスペースを確保する。		
教育方針との関連	①校長室と職員室の垣根をなくす。		
他校事例	—	照葉小中学校 豊里小中学校	はるひ野小中学校 芝園小中学校

※面積は普通教室の面積を参考とする。

(3) 現在の状況

学校	面積	備考
有徳小学校	32.4 m ²	
値賀小学校	31.5 m ²	
有浦中学校	63.0 m ²	部屋の一室に会議机を置き、職員等の会議に使用
値賀中学校	33.5 m ²	
合計	160.4 m ²	

(4) 他校の事例

学校名	面積	校長数
はるひ野小中学校	小 26 m ² ・中 26 m ²	2名(小学部1・中学部1)
芝園小中学校	小 45.5 m ² ・中 42 m ²	2名(小学校1・中学校1)
照葉小中学校	45 m ²	1名
豊里小中学校	60 m ²	1名

9. 事務室の提案・協議

(1) 前提

①事務室を職員室とは別に設ける定めはない。

(2) 提案内容

	提案1	提案2	提案3
設置数	なし	1室	2室
面積※		0.5室	0.5室×2
特徴、条件等	①事務室を設けない。 ②職員室にて業務を行う。	①職員室とは別に設ける。 ②小中それぞれ職員が配置されても1室とする。 ③職員室に隣接した場所に設置する。	①職員室とは別に設ける。 ②小中別々に設置する。 ③職員室に隣接した場所に設置する。
他校の事例	—	はるひ野小中学校 照葉小中学校 豊里小中学校	芝園小中学校

※面積は普通教室の面積を参考とする。

(3) 現在の状況

学校	面積	備考
有徳小学校	17.0 m ²	別室(玄関前に職員室と分離して設置)
値賀小学校	31.5 m ²	別室(校長室と職員室の間)
有浦中学校	31.5 m ²	別室(玄関と校長室の間)
値賀中学校	23.8 m ²	別室(校長室と職員室の間)
合計	103.8 m ²	

(4) 他校の事例

学校名	面積	備考
はるひ野小中学校	56 m ²	職員室とは別に1室設置
芝園小中学校	小 31.5 m ² ・中 24 m ²	小中別かつ職員室とは別に設置
照葉小中学校	42.5 m ²	職員室とは別に1室設置
豊里小中学校	26 m ²	職員室とは別に1室設置